

東京から南九州そして信州へ。挫折、偶然、そして新たな一歩へ。



初期のポイントO大会スタート
マスターマップからコントロール位置を自分で写しとってスタート。左は佐藤綱一氏

東京を離れ、南九州へ

1987年3月、私は郷里で唯一人病院生活をしている老母のことを考え、勤務先を退職し、宮崎へ帰ることにした。その頃県立少年自然の言えが生家の近くにできるとの情報を得て、早速開設担当の所長に電話した。自分の経歴等を知らせると是非来てほしいとの返事。早速履歴書など必要書類を送付した。しかし正式に採用してもらえず2ヶ月後に断りの文書を受け取った。その後もOLの関係資料や単行本などを携え協力を申しでたが10年あまりの在郷の間一度も呼ばれることはなかった。

帰郷して3年近くの月日が過ぎ、母も亡くなったので再び東京に戻ることを考えていたとき、市内のミッションスクール(高校・短大)から講師の依頼が来た。学生・生徒は女子ばかりで、取り扱いの難しさを考えて辞退したが、旧師に説得されて理数科関係の常勤講師に就任した。教科の担当以外にクラブ活動もやってほしいとの事で、さっそくOLクラブを作り部員を募集したが、6名の応募しかなかった。学校のすぐ近くに幅100m長さ3kmの防風林(松林)が隣接していたのでOLの練習には好都合であった。

この頃、ローカル紙が1ページを使ってOLをとりあげ、私の抱負についてもPRしてくれたが、有力な起爆剤にはならなかった。

1987年、市の中心地近くに、カルチャースクールを建設し、大人対象のコ

ースのほか小中高生向けの学習塾も併設した。生徒は少人数しか集まらなかったが、時折レクリエーションとしてのOL教室を近くの丘陵地で開いた。

宮崎県庁の担当課へは何度も訪れてOL関係の行事の開催を迫ったが、OL発足当時の意気込みはなく、唯一度だけ三級公認指導員の講習会を開くにとどまった。

最終のOL競技会

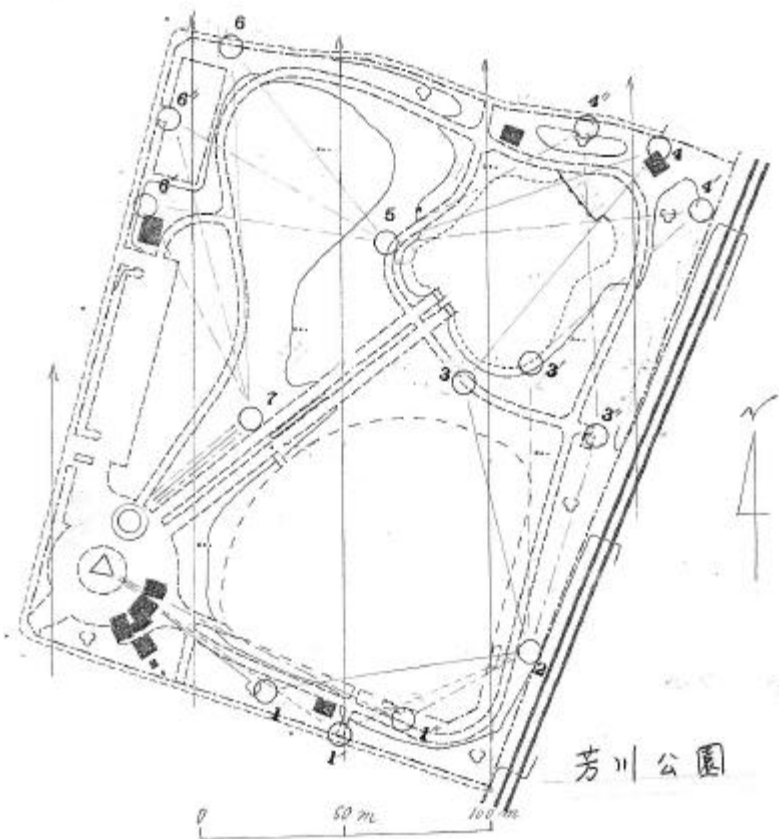
私のOL競技会への参加は1989年東京OL主催の富士見高原でのOカップで、運営では1989年山梨県白州町での多摩OL20周年記念大会が最後になった。1990年9月、腹部に異常を感じた私は診断の結果は胃潰瘍、ただちに入院、手術することになった。手術後1ヶ月ほどで退院したが、体力は回復せず、長い通院生活が続くことになり、OL普及の夢も無くなってしまった。

事実は小説よりも奇なり

この言葉はかなり古い時代の方しか判らないでしょう。わが国のTV放送が始まって間もないころ、NHKの人気番組「私の秘密」の冒頭の言葉である。長野県松本市への転居を決め、信州の山野での散策で過ごすつもりで、長野オリンピックの後はのんびりと過ごしていた。

2001年の6月のはじめ、筋向いの木村佳司さんから「OLをやっていた佐藤さんでしょう」と声をかけられた時、神様は何と悪戯好きだろうと思った。

私の周辺の住宅は、長野県住宅供給公社が公募し、激しい競争倍率で当選した人たちである。木村さんとは挨拶をしたり、お話ししたことはあったが、現在のわが国のOLをリードしている人とは夢にも思わず、3年あまりの月日が過ぎていた。木村さんは早速オリエンテーリングマガジンをはじめ、OL関係の資料を持ってきて最近のOL事情について詳しく話して頂いた。



地域の小学生を対象としたオリエンテーリング教室の地図
佐藤氏と木村の自宅のすぐ近くにある公園

ゲレンデの調査での GPS の活用、パソコンでの 0-map 作図、電子パンチチェックなど私が休んでいる間に OL 界はすっかり変わってしまった。しかし一方で OL 活動の地域差が極端に大きく開いたことや OL 競技会参加者が意外に少ないことが、わが国の OL の将来を考え気がかりになった。

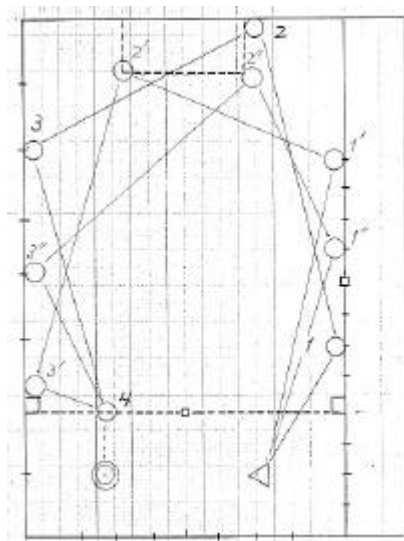
公民館長に選任されて

2001 年 4 月、私は転居して 3 年余りの町の公民館長に選ばれた。個数 850 戸、町内行事の盛んな地域である。就任 2 年目、学校 5 日制が完全実施されることになり、町会としても土曜日対策に何かしようということになった。町会長からは町内の小学生に OL を教えて欲しいとの要望が出されたが、ほかに適当なものが考えられず、やさしい OL 教室を実施することにした。参考にしたのは以前にスウェーデンで受講した「初心者 OL 指導法」やスイスのハンゼルマン氏の小冊子「スクール 0」等である。安全に、楽しく、身近でできるやさしい OL をモットーに計画し、実施した。

コンパスは以前のカルチャースクールのを、フラッグの代わりにジュースの空き缶に紅白のテープを巻くなど手製のもので代用した。

OL 教室の第一日目は公民館の大広間で地図の正置や OL 競技のやりかた、リレー OL などを実施した。3 日目の OL 競技会は子供たちだけの行事のため、学

区域内の公園でのミニ OL にした。1 人リレー OL の予定であったが、季節はずれの寒さのため、1 人 1 コースを回るだけの短時間のものになった。



公民館の広間で行われた OL 教室の地図。100 人も入ればいっぱい部屋である。

おわりに

ささやかながらの OL 教室が終わり、過ぎ去った OL の日々を静かに振り返ってみる。

芸術品とも見える最近の 0 マップ、最新技術を駆使した OL 競技会の開催、アジアでは初めての世界選手権、すべては私には夢のように思える。わが国

の OL の躍進、その一方で OL に無関心の多くの人たち、一般新聞誌面を飾ることのない OL ニュースなど一般性のない OL というスポーツを考えずにはおられない。

南九州に比べると、信州の自然は広くて明るい。新緑の頃でも、樹間に白雪を頂く美しいアルプスの連山が見え隠れする。この自然に恵まれた信州で、地図とコンパスで歩き、時には走り、一人でも多くの少年少女に OL の楽しさや喜びを伝えたいものである。

これまで 4 回にわたり記憶を基に認めた拙い文、間違いもあることと思う。3 月新潟県での全日本大会では「浦島太郎」の気持ちで、大会の流れを見守ることでしよう。(おわり)



佐藤綱一



スイス・シドラー氏(左端) ハンゼルマン氏(中央) 佐藤綱一(右端) 1980 年 8 月 東京東村山にて